

## 花の講座“多肉植物の寄せ植えとカラーサンドアート”

## 環境園芸だより 11月号

## 環境講座“味噌蔵見学と味噌づくり体験”



多肉植物とは、葉や茎、根の一部に水分をたくさん含み、多肉質になっている植物。栽培では水やりが少なくてよいため、手間がかかりません。

鶴田瑞穂先生



寄せ植えの楽しさと難しさを実感しました。多肉植物が意外と小さな器の中にギッシリという感じで難しかったです。お水をあげすぎないように上手に育てていけたらと思います。

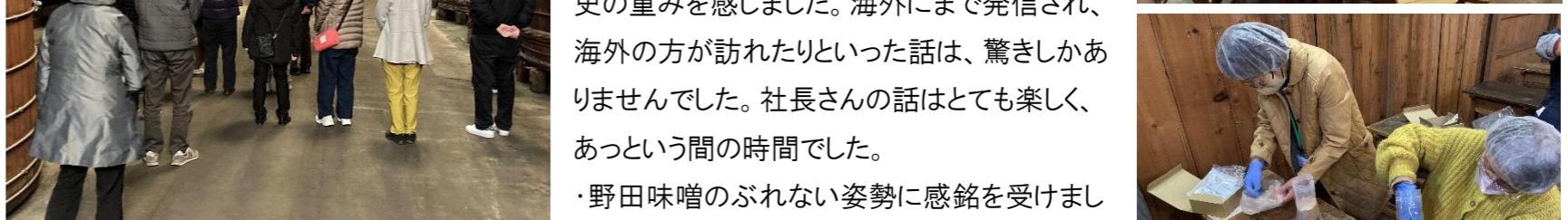
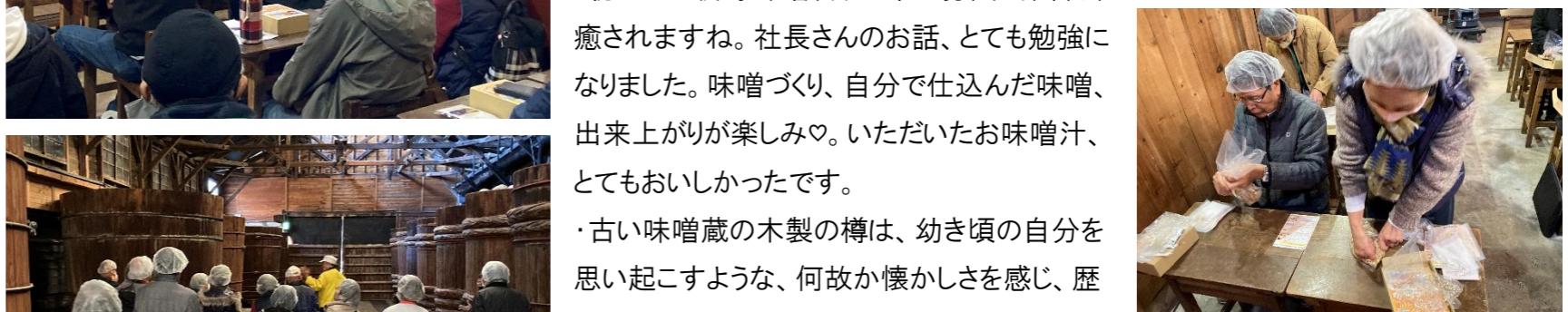
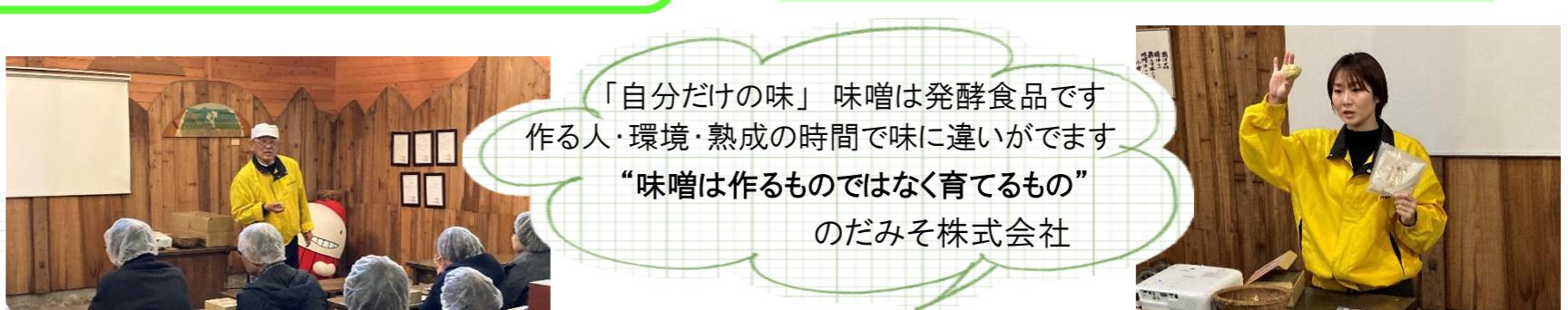
- 多肉植物を使ってのサンドアートはとても楽しく、自分でこれからも、いろんな色を使って作ってみたいと思いました。
- とても楽しい講座でした。時間がもう少しあると、もっとお話を聞けた。水やりのタイミングが難しそう。よく観察していきたいと思います。カラーサンドアートもう1回やってみたい。
- カラーサンドでは、それぞれセンスある色の選択がとても面白かった。どれ一つとして同じものもなく、それぞれの個性があふれていた。寄せ植えでも、先生のお話を伺いながら、オリジナルの作品ができてよかったです。水を与えるすぎないというのは、私にはぴったりなのかもしれない。上手に育てたい。
- 多肉植物は大好きなので、うれしかったです。今回はサンドアートも教えていただいたので、ぜひ家でいくつか作って、友達にあげたいと思います。
- カラーサンドアートは見た目もきれいで部屋の飾りにもってこいなので、無事に長く持ってほしい。寄せ植えと共に水やり(霧吹き)が難しそうでタイミングを逃しそうです。



「自分だけの味」味噌は発酵食品です  
作る人・環境・熟成の時間で味に違いがでます  
“味噌は作るものではなく育てるもの”  
のだみそ株式会社



- 初めての耕塚味噌、蔵の中の雰囲気、香り、癒されますね。社長さんのお話、とても勉強になりました。味噌づくり、自分で仕込んだ味噌、出来上がりが楽しみ。いただいたお味噌汁、とてもおいしかったです。
- 古い味噌蔵の木製の樽は、幼き頃の自分を思い起こすような、何故か懐かしさを感じ、歴史の重みを感じました。海外にまで発信され、海外の方が訪れたりといった話は、驚きしかありませんでした。社長さんの話はとても楽しく、あつという間の時間でした。
- 野田味噌のぶれない姿勢に感銘を受けました。歴史の重さがよく感じられました。



始めて味噌蔵を見学しましたが、社長さんの味噌に対する強い思いを聞いて、さすが100年も続く老舗の会社だと感動しました。地元にこんなすごい会社があることを宣伝したくなりました。

野田社長の味噌づくりに対する情熱と信念を強く感じ「素晴らしい！」と思った。特に学校給食に質の高い味噌を提供し子供たちの未来を見据えていること、そして「チャチャツと」ではなく「チャンと！」する、という言葉が心に残った。味噌づくり体験も楽しかったが、それに増して、一人の人間として野田社長の言葉(お話)を拝聴できたことが一番の収穫だった。久しぶりに“日本の社長”に出会えた気がしました。

今まででは何となくみそ汁のために味噌を買っていました。味噌がこんなにも奥が深く、味噌ができるまでの期間大切にされてこられて…、奥深い味噌知識が知れて、本当に良い一日でした。

味噌のいろんなお話を聞けて、大変勉強になりました。また、味噌づくり体験もとても楽しく、3～4か月後の仕上がりが楽しみです。野菜づくりだけでなく、こんな体験ができる環境園芸学科、とてもよいと思います。

食べごろは3月です  
卒業のお祝いにいただきます

